

令和7年度 教科シラバス

教科	国語		科目	現代の国語		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	2(1)/8	レポート	6回	
教科書	新編現代の国語 (大修館書店)		副教材	新編現代の国語 予習ノード (大修館書店) 新実用国語の演習 (中部日本教育文化)		
放送視聴	NHK 高校講座 現代の国語 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/genkoku/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/genkoku/</a>					

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 言葉の使い分け・言葉の学び	4月11日			①
2 様々な説明の仕方	5月23日		1 自分を伝え、相手を知ろう 2 この説明でわかりますか? 19 「やさしい日本語」で話そう	②
3 論理を読み取る	6月20日			③
4 1から3のまとめ・補足	8月29日			
5 情報を読み取る	9月26日		12 メディアとかしこくつきあおう 13 「ファクト」と「フェイク」 7 新たな視点で周りを見よう	④
6 意見文の基礎	11月7日			⑤
7 社会に目を向ける	12月5日		15 みんなで「問い」を作ろう 16 論理的ってどういうこと? 4 「意見」と「意見文」	⑥
8 5から7のまとめ・補足	1月23日			

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
教科書、教科書準拠教材を活用して内容の要点を説明する。前期考查範囲1～4、後期考查範囲5～8	

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート(振り返りも含む)・授業プリント評価・定期考查(2回)	

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、自国の言語文化の担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語		科目	言語文化	
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	2(1)/8	レポート	6回
教科書	新編言語文化(大修館書店)		副教材	なし	
放送視聴	NHK高校講座「言語文化(TV版)」( <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/gengobunka/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/gengobunka/</a> ) NHK高校講座「言語文化」( <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_gengo/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_gengo/</a> ) NHK for school 10min.ボックス古文・漢文( <a href="https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_kobun/">https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_kobun/</a> )				

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座 他)	レポート
(1)表現を味わう「とんかつ」	4月18日	—	NHK高校講座「言語文化」第39、40、41回	①
(2)古文に親しむ「古文への招待」「児のそら寝・十二の『子』文字」	7月4日	—	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第1、2、3回	②
(3)物語を受け継ぐ「羅生門」①	7月25日	夏季	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第20、21、22回	③
(4)物語を受け継ぐ「羅生門」②	9月5日	夏季	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第23、24回 NHK高校講座「言語文化」第51回	
(5)漢文に親しむ・現代に生きることば「訓読のきまり」「格言」「五十歩百歩」	10月10日	—	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第9、10回 NHK高校講座「言語文化」第23回	④
(6)文化を見つめる「足し算の文化」、近代文学に触れる「夢十夜」	11月14日	—	NHK高校講座「言語文化」第77、78回 NHK高校講座「言語文化(TV版)」第40回	⑤
(7)物語の広がり「芥川」	12月19日	—	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第25、26回 NHK for school 10min.ボックス「伊勢物語」	⑥
(8)旅への思い「旅立ち」	1月30日	—	NHK高校講座「言語文化(TV版)」第34回 NHK高校講座「言語文化」第70回 NHK for school 10min.ボックス「おくのほそ道(松尾芭蕉)」	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
授業プリントを活用して内容を理解する。レポートで問題演習を行う。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。 前期考查範囲：(1)～(4)、後期考查範囲：(5)～(8)	授業プリントを活用して内容を理解する。レポートで問題演習を行う。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。 放送視聴は、視聴後に視聴報告書をまとめる。 前期考查範囲：(1)～(4)、後期考查範囲：(5)～(8)

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・ノート等授業記録</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート、小テスト</li> <li>・授業の振り返り</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・視聴報告書及び授業記録</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート、小テスト</li> <li>・授業の振り返り</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	地理歴史		科目	地理総合		
単位数	3単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	3(1)/11	レポート	9回	
教科書	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる (第一学習社)、基本地図帳 (二宮書店)		副教材	なし		
放送視聴	<a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chirisougou/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/chirisougou/</a>					

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
			※下記から動画3~4本1セットを選んで視聴	
第Ⅰ編 地図や地理情報システムと現代世界				
第1節 球面上の世界と地図	4月11日	7月28日	1 地球で暮らすってどういうこと？ 2 GISって何？	①
第2節 国家の結びつきとグローバル化する世界	5月9日		3 何がグローバル化しているの？	②
第Ⅱ編 国際理解と国際協				
第1章 生活・文化の多様性と国際理解	6月6日		4 大地は動いている？ 5 暮らしは地形と結びついている？	③
第2節 人々の生活に彩りを与える気候	7月4日		6 なぜ気候の違いが生まれるの？ 7 気候変われば暮らしも変わる？	④
第3節～第5節 「衣」「食」「住」から見る世界	7月4日		8 世界のさまざまな暮らしとは？ 9 歴史は暮らしにどう影響している？	④
第5節 宗教と人々の暮らし	7月25日		10 ものづくりが暮らしを支えている？ 11 新しい産業で暮らしはどう変わる？	⑤
第2章 地球的課題と国際協力				
第1節 持続可能な社会を目指して	9月5日		12 持続可能な社会って何？ 14 人口問題を解決するには？	⑤
第2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて	9月26日		15 世界に飢餓と飽食があるのはなぜ？	⑥
第3節 自然と調和した豊かな社会に向けて	10月31日		13 エネルギーをどう使えば持続可能？	⑦
第4節 現役世代と将来の世代のための地球	〃		16 都市ではどのような問題が 20 地域の課題をどう解決する？	⑦
第5節 平和で公正な社会に向けて	12月19日	12月22日		⑧
第Ⅲ編 持続可能な地域づくりと私たち	1月30日		17 日本の地形と災害とは？～日本の地形と自然災害～ 18 日本の気象と災害とは？～日本の気候と自然災害～ 19 防災にどう向き合う？～自然災害と防災～	⑨

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<b>【授業】</b> 授業プリントで概要や重要箇所を学習する <b>【授業プリント】</b> 教科書を見ながら学習する <b>【レポート】</b> 主に授業プリントの内容を復習する <b>【考查勉強】</b> 絶対に出るプリント・授業プリントから出題 <b>【学び直し】</b> 国名30カ国、用語の読み書き	<b>【スクーリング】</b> 授業プリントで重要箇所を学習する <b>【授業プリント】</b> 教科書を見ながら学習する <b>【レポート】</b> 主に授業プリントの内容を復習する <b>【放送視聴課題】</b> 映像で重要箇所の内容を学習する <b>【考查勉強】</b> 絶対に出るプリント・授業プリントから出題 <b>【学び直し】</b> 国名30カ国、用語の読み書き

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点（評価方法/配点割合）

a. 知識・技能（定期考査/50）
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
b. 思考・判断・表現（レポート/30）
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それら基に議論したりしている。
c. 主体的に取り組む態度（授業プリント、オンライン型は放送視聴課題も含む/20）
地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	数学		科目	数学Ⅰ	
単位数	3	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	14(7)/14	レポート	12回
教科書	新数学Ⅰ(東京書籍)		副教材	ニューファースト新数学Ⅰ(東京書籍)	
放送視聴	NHK高校講座 数学Ⅰ <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/suugaku1">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/suugaku1</a>				

学習目標

数と式、2次関数及び三角比について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
①教科書 p 32～41	4月11日	夏季	2 式の展開	①
②教科書 p 42～52	4月18日	夏季	3 因数分解 6 ルートの基本計算	②
③教科書 p 58～67	5月30日	—	9 一次不等式を解く	③
④教科書 p 68～71	6月13日	—	16 2次方程式を解く	④
⑤教科書 p 74～85	7月4日	—	12 2次関数の頂点	⑤
⑥教科書 p 86～91	7月18日	—	13 2次関数のグラフをかく	⑥
⑦総復習	8月29日	—	前期考査範囲のまとめ	
⑧教科書 p 92～95	9月26日	—	14 2次関数の最大値最小値	⑦
⑨教科書 p 96～101	10月10日	—	19 2次不等式	⑧
⑩教科書 p 104～109	11月14日	—	22 鋭角の三角比の定義	⑨
⑪教科書 p 110～113	11月28日	—	22 鋭角の三角比の定義	⑩
⑫教科書 p 114～117	12月19日	—	23 三角比の相互関係 25 三角形の面積	⑪
⑬教科書 p 118～127	1月9日	冬季	24鈍角の三角比 26正弦定理 27余弦定理	⑫
⑭総復習	1月23日	冬季	後期考査範囲のまとめ	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業1回につきレポート1回分進む。</li> <li>・授業はレポートの問題に沿って重点的に解説する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、副教材の問題演習を中心に、要点を説明する。</li> <li>・放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査(年2回、5割)、レポート(年12回、3割)</li> <li>・平常点(副教材提出等、2割)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査(年2回、5割)、レポート(年12回、3割)</li> <li>・平常点(副教材提出等、2割)</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基本的な概念や原理を理解する。</li> <li>・事象を数学的に解釈したり表現したりする能力を身に付ける</li> </ul>
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を活用して事象を論理的、統合的に考察する。</li> <li>・数学的な表現を用いて事象を簡潔、的確に表現する。</li> </ul>
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し積極的に数学を活用する。</li> <li>・問題解決の過程を振り返り考察を深め改善する。</li> </ul>

令和7年度 教科シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	8(4)/8	レポート	6回
教科書	高等学校 改訂 科学と人間生活 (第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート科学と人間生活 (第一学習社)		
放送視聴	NHK高校講座 科学と人間生活 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kagakuningen/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/kagakuningen/</a>				

学習目標

自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1 衣料と食品1~4	5月9日	7月29日		①
2 衣料と食品5~10	5月30日	7月31日		②
3 光の性質とその利用	6月6日	放送視聴①	12 テレビ技術の発展 ~光の性質~ 13 自動運転のしくみ ~電磁波の役割~ 16 SDGs と物理	③
4 前期問題演習	9月5日	放送視聴②	1 SDGs がひらく未来 10 繊維がひらく未来 ~衣料の科学~ 11 グルメの神髄 ~食品の科学~	
5 ヒトの生命現象1~5	10月31日	12月23日		④
6 ヒトの生命現象6~9	11月21日	12月25日		⑤
7 太陽と地球	1月9日	放送視聴③	17 暦と暮らし ~太陽系の中の地球と月~ 18 太陽が動かす大気と水 ~気象の科学~ 20 地震と津波 ~自然災害に備える~	⑥
8 後期問題演習	1月30日	放送視聴④	4 視覚 ~私たちが見ている世界~ 5 病との闘い ~体の状態を健康に保つ~ 6 遺伝子とは... ~iPS細胞ってなに?~	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 前期考査範囲：1~4、後期考査範囲：5~8	授業では要点を説明する。問題演習は副教材を使用。 放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。 前期考査範囲：1~4、後期考査範囲：5~8

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
・授業態度（出席率等も含む） ・レポート評価 ・定期考査（2回）	・授業態度、視聴課題の報告 ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能

科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。

b. 思考・判断・表現

身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。

c. 主体的に取り組む態度

身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育		科目	体育(1年次)		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	10(6)/12(4)	レポート	2回	
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports		
放送視聴	NHK高校講座 保健体育 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/</a> <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/</a>					

学習目標

<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
---

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—	体育実技1～5体づくり運動、マット運動、短距離走・リレー、水泳、バスケットボ	①
新体力テスト・体づくり運動	2025/4/25	—		
新体力テスト・体づくり運動	2025/5/23	—	体育実技6～10卓球、ソフトボール、剣道、現代的なリズムのダンス、豊かなスポーツライフの設計	①
バレーボール・新体力テスト	2025/5/23	—		
バレーボール・新体力テスト	2025/6/13	—	保健体育6～8スポーツの変遷とスポーツ文化、オリンピックとパラリンピックの意義 他	①
バレーボール・陸上競技	2025/6/13	—		
バレーボール・陸上競技	2025/7/30	夏季	保健体育13～18スポーツにおける技能と体力、スポーツにおける技術と戦術 他	
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/7/30	夏季		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—	保健体育27～29生涯スポーツの見方・考え方とライフスタイルに応じたスポーツ 他	②
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/10/17	—		
バスケットボール・ダンス・体づくり運動	2025/11/7	—		
バドミントン・卓球	2025/11/7	—		②
バドミントン・卓球	2025/11/28	—		
バドミントン・卓球	2025/11/28	—		
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季		
バドミントン・卓球	2025/12/24	冬季		

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。</li> <li>実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。</li> <li>実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。</li> <li>放送視聴は、視聴後に報告用紙をまとめる。</li> </ul>

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度(出席率等も含む)</li> <li>・実技テスト</li> <li>・レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、視聴課題の報告</li> <li>・実技テスト</li> <li>・レポート評価</li> </ul>

評価の観点

a. 知識・技能
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫していると同時に、それらを他者に伝えている。
c. 主体的に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育		科目	保健		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	8(1)/2	レポート	6回	
教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)		
放送視聴	NHK高校講座 保健体育 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/taiiku/</a> <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/r2_hoken/</a>					

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
1単元 6.運動と健康	2025/5/23		保健体育25~29応急手当の意義と日常的な	
1単元 8.休養・睡眠と健康	2025/6/20	7月29日	応急手当、心肺蘇生法、ほか	①②
2単元 2.安全な社会の形成	2025/7/25		保健体育13~14、20~21、23	
2単元 4~6.心肺蘇生法 他	2025/9/5		安全な社会の形成 ほか	③
3単元 1~3.ライフステージと健康 思春期と健康、性意識と性行動の選択 他	2025/11/7			
	2025/12/5			④⑤
4単元	2026/1/16			
健康を支える環境づくり	2026/1/30			⑤⑥

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2~4ページのペースで進める。	副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2~5ページのペースで進める。

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度（出席率も含む）</li> <li>・発問評価（小テスト）</li> <li>・レポート評価</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度、視聴課題の報告</li> <li>・発問評価（小テスト）</li> <li>・レポート評価</li> <li>・定期考査（2回）</li> </ul>

評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <p>各単元において、社会的な対策が必要であること、責任が生じること、適切に行う技能を身に付けなければならないことなどを理解している。</p>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> <li>・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えてるとともに、それらを表現している。</li> <li>・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> <li>・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> </ul>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術		科目	美術 I		
単位数	2	要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時	4 (4)	レポート	6	
教科書	美術 I		副教材			
放送視聴						

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
身近なものを描く I	5月9日	7月28日		①
風景画	7月18日	12月22日		②③
マークやサイン	10月31日			④⑤
まとめ	1月9日			⑥
			NHK高校講座美術 I 4・5・6	
			NHK高校講座美術 I 7・8・9	
			NHK高校講座美術 I 13・14・15	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品(作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む) ・提出物(レポート、作品提出期限の厳守なども含む) ・授業態度(出席率を含む)

評価の観点

a. 知識・技能
・対象の持つ造形的なよさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。
・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。
・美術の基礎的な知識を理解している。
b. 思考・判断・表現
・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。
・表現する際に、道具や表現技法を選ぶことができる。
・学んだ知識や技法を表現に生かしている。
c. 主体的に取り組む態度
・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。
・他者の制作する姿勢や作品に興味を持ち、意欲的に自己の制作に生かそうとしている。
・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術		科目	書道Ⅰ		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数		8(4)/8	レポート	6回
教科書	書Ⅰ(光村図書)		副教材	なし		
放送視聴	NHK高校講座(新作)「書道Ⅰ」( <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/</a> ) NHK高校講座 ライブラリーモードon(旧作)「書道Ⅰ」( <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/?lib=on">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/shodou/?lib=on</a> )					

学習目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
(1)「書道で学習すること」「書写から書道へ」「漢字の変遷とさまざまな書体」	5月9日	夏季	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第1回「書はアートだ!」、第2回「線に無限の可能性」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第8回「それは甲骨文から始まった」	①
(2)漢字の書 楷書1(唐の四大家に学ぶ 楷書の基本)	5月9日	夏季	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第3回「臨書に挑戦」、第4回「くらべて発見!書の個性」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第4回「書の表情いろいろ」	②
(3)漢字の書 楷書2(摩崖の書・写経)	7月18日	—	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第5回「岩肌に刻まれた書」、第6回「写経に挑戦」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第5回「岩に刻んだ書」	③
(4)漢字の書 楷書2(摩崖の書・写経)	7月18日	—	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第5回「岩肌に刻まれた書」、第6回「写経に挑戦」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第7回「写経に挑戦!」	
(5)漢字の書 行書(中国の行書・日本の 行書)	10月31日	—	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第7回「書聖・王羲之の世界」、第8回「空海と日本の書の広がり」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第9回「書聖・王羲之の世界」	④
(6)漢字の書 行書(中国の行書・日本の 行書)	10月31日	—	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第7回「書聖・王羲之の世界」、第8回「空海と日本の書の広がり」 NHK高校講座(旧作)書道Ⅰ 第10回「日本の書のパイオニア」	
(7)仮名の書	1月9日	冬季	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第14回「ひらがなの誕生」、第15回「わかるとたのしい美の秘訣」、第16回「線と空間のハーモニー」	⑤
(8)漢字仮名交じりの書・創作	1月9日	冬季	NHK高校講座(新作)書道Ⅰ 第2回「線に無限の可能性」、第9回「学んだ古典を使ってみよう!」、第13回「書の美や風趣を味わおう」	⑥

## 学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
<p>           考査は行いません。毎時間臨書などを含めた作品の提出を            求めるので、時間内に完成できるよう取り組んでくださ            い。         </p>	<p>           考査は行いません。授業では臨書などを含めた作品の提出            を求めるので、時間内に完成できるよう取り組んでくださ            い。放送視聴は視聴後に視聴報告書を提出してください。         </p>

## 評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の行動観察</li> <li>・ 授業記録</li> <li>・ レポート評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の行動観察</li> <li>・ 視聴報告書及び授業記録</li> <li>・ レポート評価</li> </ul>

## 評価の観点

<p>a. 知識・技能</p> <p>書の造形や多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。</p>
<p>b. 思考・判断・表現</p> <p>書のよさや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美の味わいを捉えたり、表現を工夫したりすることができるようにする。</p>
<p>c. 主体的に取り組む態度</p> <p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えるようにする。</p>

令和7年度 教科シラバス (キャリア週1 オンラインコース)

教科	外国語		科目	English Communication I		
単位数	4単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	16 (9) /16	レポート	12	
教科書	VISTA English ommunication I (三省堂)		副教材	Vista English Communcation I ワークブック		
放送視聴	NHK高校講座 英語コミュニケーション I					

学習目標

- ・英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・言葉・文化・民族の多様性とその共存を基本とし、国際理解の精神の育成を図る
- ・情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝えるための基礎的な能力を伸ばす。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
(1) Lesson1 colors of spring	4月11日	放送視聴 1	1 英語と日本語の違い 2 be動詞 3 一般動詞	①
(2) Lesson2 Dick Bruna	4月18日	放送視聴 2	4 と 5 (Lesson1) 動詞の過去形 13 道案内をしてみよう	②
(3) Lesson3 Interesting Sports	4月25日	放送視聴 3	6 と 7 (Lesson2) 進行形 12 できることを伝えよう	③
(4) Lesson1～3	5月30日	放送視聴 4	8 と 9 (Lesson3) 助動詞 15 英文Eメールを書こう	—
(5) Lesson4 Pictograms	6月12日	7月28日		④
(6) Lesson5 We are part of nature	6月20日	7月29日		⑤
(7) Lesson4と5	7月25日	7月30日		⑥
(8) Lesson1～5	8月29日	放送視聴 5	11と13と14 (Lesson4) to不定詞	前期考査
(9) Lesson6 Machu Picchu	9月26日	放送視聴 6	26と27 (Lesson8) 現在完了形 28 乗り換え案内をしてみよう	⑦
(10)Lesson7 Artificial Intelligence	10月10日	放送視聴 7	21と22 (Lesson6) 受け身 19 小ばなしを聞かせよう	⑧
(11) Lesson8 Is there a Santa Claus ?	10月17日	放送視聴 8	35と36 (Lesson10) 関係代名詞 37 SNSで世界を広げよう	⑨
(12)Lesson6～8	11月14日	放送視聴 9	30と31 (Lesson10) 分詞 2 3 比較	
(13) Lesson9 Kid'S Guernica	11月21日			⑩

(14)Lesson 1 0 Ethical Fashion	11月28日	12月22日		⑪
(15) Lesson9~Lesson10	1月16日	12月23日	—	⑫
(16) Lesson6~Lesson10	1月23日	12月24日		後期考査

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
・ 文法内容の説明を聞き、ノートにまとめる 点問題を中心にワークに問題に取り組む	・ 重 ・ 説明を聞きノートにまとめ、ワークの問題を進める PDFより学習メモを取りながら視聴する

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
授業態度 レポート評価 定期考査(4回)	授業態度、視聴課題の報告 レポート評価 定期考査(2回)

評価の観点

a. 知識・技能
外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きや特徴などの理解を深める。これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことの活動において、基本的な語句や文を用いて、伝えるために必要な技能を身に付ける。
b. 思考・判断・表現
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	情報		科目	情報Ⅰ		
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	4(2)/6	レポート	4回	
教科書	高等学校 情報Ⅰ(第一学習社)		副教材	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー(実教出版)		
放送視聴	NHK高校講座 <a href="https://www.nhk.or.jp/kokokoza/jouhou1/">https://www.nhk.or.jp/kokokoza/jouhou1/</a>					

学習目標

- 1 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。
- 2 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。
- 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身に付ける。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
第1章 情報社会の問題解決	4月25日 7月4日	放送視聴①	3 ネット社会にも権利がある	①
第2章 コミュニケーションと情報デザイン	8月29日	放送視聴①	6 ネットで変わるコミュニケーション 9 情報デザイン3つのコツとは?	②
第3章 コンピュータとプログラミング	11月14日	放送視聴②	11 コンピュータ大解剖! 12 本当に賢い? コンピュータ	③
第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	12月19日	放送視聴②	19 データが社会を動かす!	④
実習(データの入力・グラフの作成・関数の利用)	5月30日 10月17日 1月23日	7月31日 12月25日		

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。	情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフトを活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコースオンライン型
① 授業態度(出席率等も含む)	① 授業態度(出席率等も含む)
② レポート評価	② レポート評価
③ 定期考査(2回)	③ 定期考査(2回)
	④ 視聴課題

評価の観点

a. 知識・技能
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
b. 思考・判断・表現
情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
c. 主体的に取り組む態度
情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	学校設定科目	科目	ベーシック（1年）
単位数	2単位	必要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時数	1日:3/4 木:2/2 レポート 2回
アプリ	Monoxer（モノグサ）	アプリ内テキスト	SPI3&テストセンター 出るところだけ！ 完全対策
放送視聴	なし		

学習目標

- ・「考える力」を軸に、勉強をする意義をよく理解する。
- ・学力の底上げになるトレーニングを行い、勉強へ向かう意欲を向上させる。
- ・自分自身の脳の働きを知る事で、長所短所を見出す。
- ・物事を多角的かつ幅広く観ることが出来る様になる為、柔軟性を持たせた学習をする。

学習内容

内 容	1日登校型	オンライン型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
基礎コンテンツ、SPI3の計画	4月18日			
基礎コンテンツ授業内テスト	6月6日	7月31日		①
基礎コンテンツ、SPI3の計画	10月10日			
基礎コンテンツ授業内テスト	1月16日	12月23日		②

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターは各自で進める。 基礎コンテンツ（中学国数英）を計画に基づいて進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
—	SPI3&テストセンターについて、レポート扱いとする。 基礎コンテンツについては、各期ごとに確認テストを行い、評価する。 達成率等も評価基準とする。

評価の観点

a. 知識・技能
基礎学力の向上や、一般常識の学習。
b. 思考・判断・表現
計画を立て、遂行する能力を養う。
c. 主体的に取り組む態度
毎日の学習習慣の確立。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術		科目	美術 I		
単位数	2	要面接時数(うち放送視聴可能)/実施時	4 (4)	レポート	6	
教科書	美術 I		副教材			
放送視聴						

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

内 容	1日登校型	通信型	放送視聴(NHK高校講座)	レポート
身近なものを描く I	5月9日	7月28日		①
風景画	7月18日	12月22日		②③
マークやサイン	10月31日			④⑤
まとめ	1月9日			⑥
			NHK高校講座美術 I 4・5・6	
			NHK高校講座美術 I 7・8・9	
			NHK高校講座美術 I 13・14・15	

学習方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）

評価方法

キャリアコース週1日登校型	キャリアコース通信型

評価の観点

<b>a. 知識・技能</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・対象の持つ造形的なよさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。</li><li>・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。</li><li>・美術の基礎的な知識を理解している。</li></ul>
<b>b. 思考・判断・表現</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。</li><li>・表現する際に、道具や表現技法を選ぶことができる。</li><li>・学んだ知識や技法を表現に生かしている。</li></ul>
<b>c. 主体的に取り組む態度</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。</li><li>・他者の制作する姿勢や作品に興味を持ち、意欲的に自己の制作に生かそうとしている。</li><li>・粘り強く制作に取り組んでいる。</li></ul>

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	LST（ライフスキル教育）
単位数	1	レポート	当日のワークシート
教科書	なし	副教材	手作りプリント

学習目標

<p>① 一人ひとりが安心して気持ちよく生活できるために、お互いの人権を認め合い・助け合うことができる生徒を育成する。（人とのかかわりが苦手で尻込みをしがちな生徒や、逆に迷惑な言葉をつい言ってしまう生徒も一人残らず参加できるようにする）</p> <p>② 自己理解を深め、よりよい生活習慣作りができる生徒を育成する。</p> <p>③ 将来を展望し、社会で自立して生きる力を高校在学中に身につけさせる。</p>
---

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考查	レポート	内容	考查	レポート
人とのかかわり方の基本		1	アンガーマネジメント		1
自分を知る・他者を知る		1	ストレスマネジメント		1
話し上手・聴き上手		1	性教育（心・LGBT）		1
気持ちの伝え方		1	ライフステージ・将来展望		1
親しき仲にも礼儀あり		1	心身の健康管理術		1
会話のはずむ質問術		1	感謝の気持ちを伝える		1

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
	題材についての説明を理解しながら、実習でスキルをマスターする。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
	実習でのスキルと振り返りの記録を基に評価する。

評価の観点

a. 知識・技能
課題を理解し、実習に参加できる
b. 思考・判断・表現
課題に対して自分の考えを書くことができる。また、実習では効果的な表現ができる。
c. 主体的に取り組む態度
LSTを理解して学習に取り組むことができる。